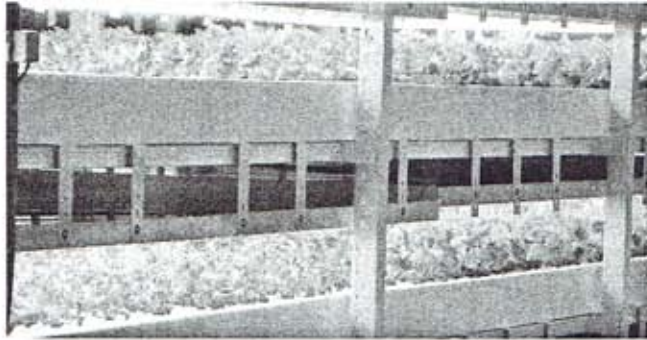


# 高カルシウムレタス生産

## 若松の会津富士加工

### 高機能野菜で予防医療



高カルシウムレタスなどを生産する工場

半導体製造工場の一部で低カリウムレタスなどを水耕栽培する会津富士加工(会津若松市)は、レタスのカルシウム含有量を通常の4倍以上に増やした「高カルシウムレタス」の生産を始めた。不足した栄養素を補い、疾病の予防や改善が期待できる高機能野菜が注目される中、同社は「会津

産の高機能野菜で予防医療に貢献したい」と意気込む。同社は、慢性的に不足していると言われる日本人のカルシウム摂取量に着目。カルシウム不足は骨粗しょう症を招き、高血圧などにつながる恐れもあることから、健康維持や健康回復が期待できるといって高カルシウムレタスの生産を進め、

量産技術を確立した。同社によると、一般的なレタス1個のカルシウム含有量は100ミリグラムあたり19ミリグラムで、高カルシウムレタスは同80ミリグラム以上。健康補助食品(サプリメント)よりも吸収効果が高く、摂取しやすいとしている。

高カルシウムレタスの価格は60円で400円(税別)。同市の住宅資材製造・販売「有紀」が発売元となり、同市中町で運営する「奥会津アンテナショップ 歳時記市場」(会津ロイヤルプラザ1階)で販売している。



高カルシウムレタスの生産拡大に意気込む松永社長(右)と橋本社長

会津の中小企業が手を組んで生産と販売を進める新事業。会津富士加工の松永茂社長(64)と有紀の橋本保社長(63)は高カルシウムレタスの事業拡大を視野に入れた、「医療や美容、健

康につながる展開も考えていく」と狙いを語った。

レタス販売店募集

発売元の有紀は、高カルシウムレタスを取り扱う販売店を募っている。問い合わせは有紀(電話0242・39・2308)へ。